

コ カ ナ ダ モ

Elodea nuttallii

種名



分類	単子葉類トチカガミ科	俗称		生活型	多年草、沈水植物
分布	北海道～沖縄に分布する。				
形態	輪生葉はふつう3枚で縁の鋸歯が小さく目立たないこと、葉がクロモよりもかなり小型であること、雄しべの数がクロモの3に対し、コカナダモは9で葉がギザギザしている。				
類似種	オオカナダモ、クロモ				
生息場所	ため池、河川、水路に生育する。				
繁殖	アメリカ北東部原産の帰化植物で、日本には雄株しかない。種子や殖芽で越冬・繁殖するほか、千切れた枝からも再生して無性生殖を行なう。				
他生物との関係	魚類の産卵、生息、避難の場となるほか、淡水ガモの餌料ともなる。				
配慮のポイント	沈水植物の生育地帯で河川改修工事を行なう場合は、できるだけ群落を存続させるよう配慮する。				
トピック	昔は刈り取って肥料とした。				
その他	指標種				

引用文献：『川の生物図典』を改変